

住宅・住戸の外皮性能計算プログラム（Ver.3.6.0β）における更新の内容

現行バージョン（Ver.3.5.0）からの変更点は、次の通りです。

●Ver.3.5.0→Ver3.6.0β（令和6年1月30日）●

<住宅・住戸の外皮性能の計算プログラム Web アプリケーション>

1. 開口部の付属部材の影響を評価する際のルールが整理されました。窓の付属部材については、熱貫流率計算用の付属部材と日射熱取得率計算用の付属部材の入力が分かれたことに伴い、それぞれに入力された1つの付属部材の影響を評価するように変更しました。複数の付属部材を入力していたケースについてはこの変更により評価結果が変わる場合があります。
2. 1に伴い、窓の計算結果画面に表示される付属部材について、熱貫流率の詳細画面については熱貫流率計算用の付属部材、日射熱取得率の詳細画面については日射熱取得率計算用の付属部材が表示されるようになりました。
3. 開口部の「日除けの有無」の名称と選択条件について整理をしました。窓の「日除けの有無」の名称を「上方の日よけの有無」へ変更し、取得日射熱補正係数の算定方法が簡易法の場合にのみ、「上方の日よけの有無」の入力が必須となるように変更しました。ドアの「日除けの有無」の名称を「日よけの効果係数の指定の有無」へ変更し、「日よけの効果係数の指定の有無」が「指定する」の場合にのみ暖房期・冷房期の日よけの効果係数の入力が必須となるように変更しました。
4. 熱貫流率の計算に用いる建材等のうち、直交集成板（CLT パネル）が計算に使用できない不備を修正しました。

<住宅・住戸の外皮性能計算条件入力シート>

5. ⑤窓シートについて、以下の変更をしました。

- 1つであった付属部材の入力を熱貫流率計算用と日射熱取得率計算用にわけて入力するようにしました。また、○印による入力でなく仕様書の文言にあわせた単一項目選択式に変更しました。
- 開口部の「日除けの有無」についての整理に伴い、「日よけの有無」を「上方の日よけの有無」に名称を変更しました。
- 日射熱取得率の計算に係る入力項目を垂直面日射熱取得率と取得日射熱補正係数の項目に分けて整理しました。それに伴い、「算定方法」、「ガラス仕様（区分）」の列を移動して取得日射熱補正係数の項目にまとめました。また、簡易法入力項目と詳細法入力項目の列を入れ替えました。
- 垂直面日射熱取得率の入力項目で仕様選択と値入力が2行になっていたものについて列の追加を行い移動しました。それに伴い、窓1つにつき2行を使っていたところを1行となるように変更しました。

6. ⑥ドアシートについて、以下の変更をしました。

- 付属部材の選択を○印による入力でなく仕様書の文言にあわせた単一項目選択式に変更しました。
- 開口部の「日除けの有無」についての整理に伴い、「日除けの有無」を「日よけの効果係数の指定の有無」に名称を変更しました。
- シートの整理を行いました。「付属部材」、「日射の有無」の列の位置を変更し、ドア1つにつき2行を使っていたところを、1行となるように変更しました。

7. 開口部以外を入力シートについて以下の整理をしました。

- ①壁等-木造、②壁等-RC造、③壁等-鉄骨造シートにおいて不要な列を削除しました。
- ⑦基礎等シートの不要な列を削除し、入力開始列を他のシートと統一してB列始まりとしました。
- ⑧熱橋シートの入力開始行を他のシートと統一して9行目始まりとしました。また、「日射の有無」の列位置を変更しました。

以上